

実装データ 1500 万件突破

(2015 年 5 月)

連携検索時 2000 万件以上から検索!

zassaku-plus.com

あらゆる
ジャンルの

日本近現代史研究に
近代文学研究に
アクティブラーニングに
郷土研究・郷土学習に
調べもの学習に

必須のデータベース!

日本最大級 実装データ 1500 万件



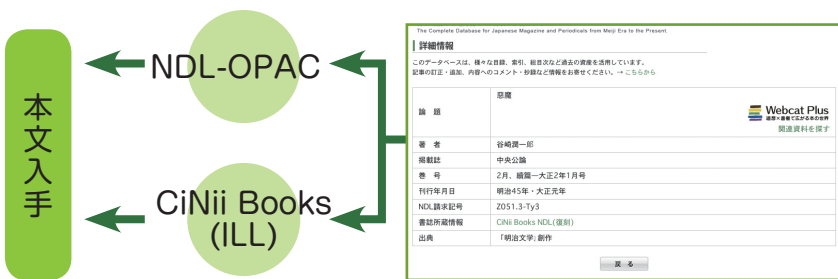
雑誌記事索引集成データベース

ざっさくプラス

総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで
The Complete Database for Japanese Magazine
and Periodicals from Meiji Era to the Present.

ざっさくプラス、CiNii、NDL デジタルコレクション 3大データベースを一度に検索

独自データから NDL-OPAC、CiNii Books へ



頭にマークのない論題は、**ざっさくプラス**独自データです。独自データ由来の論題をクリックすると、詳細画面へ。そこから NDL-OPAC か CiNii Books の検索結果へ移動できます。入手したい文献の所蔵を調べれば、遠隔地複写申込みや ILL で取り寄せることができます。

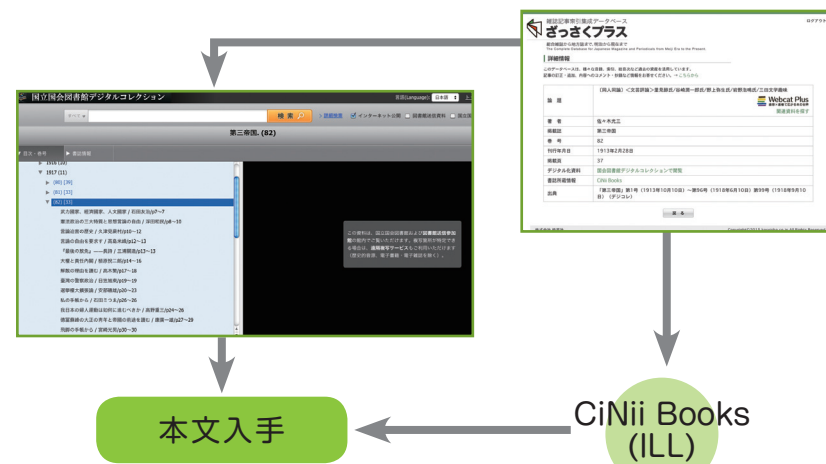
CiNii Articles へ



マークがついている論題は、CiNii との連携検索によって検索された論文。論題ワンクリックで、CiNii Articles の検索結果へ遷移できます。

NDL デジタルコレクションへ

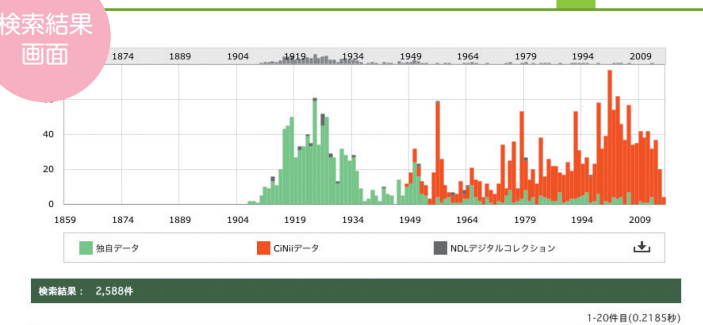
○デジタルコレクションのメタデータを独自に大幅増補しています



マークがついている論題は、NDL デジタルコレクション由来の論文。クリックすると詳細画面が開き、デジコレの検索結果に移動することができます。CiNii Books に移動して、所蔵大学図書館を探すこともできます。

ざっさくプラスって？

ざっさくプラスは、日本国内で刊行された雑誌記事を検索できるデータベース。明治初期から現在まで、140 年以上の期間を一度に検索できるのが、最大の特徴です。1500 万件超の独自のデータは国内最大級を誇り、日々増加し続けています。2015 年 5 月現在、大学図書館を中心に国内で約 110 機関、海外約 55 機関で活用されている、高い成長率と支持率のあるデータベースです。
(※旧植民地や「外地」で刊行された日本語雑誌を含みます)



一目でわかるグラフ表示で直感的な理解に役立つ！

- ◆ 人物の執筆・活動状況
- ◆ 人物や事件の研究状況
- ◆ 雑誌の刊行・採録状況

- 緑のグラフは独自、赤は CiNii、灰色はデジコレ由来のデータ。
- 横軸は年、縦軸は検索結果の件数を示す。

【月旦】十一月の小説(中村豊湖「かくれ家」、近松秋江「島原先生」、小川未明「血」「囀」、正宗白鳥「囀」「のけ者」「雨の日」、有島生馬「囀」の如く)、老實直哉「老人」、正親町公和「退院の日」、有島武郎「惑る女のグリンプス」、堀花村「山の櫻けたる日の夕ぐさ」、久保田万太郎「花火」、長田幹彦「茶」、北尾夕街「不動尊」、長島豊太郎「輪開屋」、森田外「雨」「灰燼」、水上瀧太郎「新次の身の上」、吉井勇「女僕佐」、高浜虚子「朝鮮スケッチ四篇」、後藤宙外「書記」、生田美「渡」、荒木郁子「道子」、上田君子「初秋」、木村錠子「化粧」、水野仙子「安心」、谷崎潤一郎「秘密」、徳田秋声「わが道」、小寺菊子「薩の女」、米光蘭月「閑道」)
形成 明治40年11月30日,新小説,第16年第12巻
1
【月旦】十月の小説(永井荷風「海洋の旅」、森田外「灰燼」「百物語」「塵」、谷崎潤一郎「龍風」、鈴木秋風「南風」、加茂清「M氏の犬」、松本零「樹蔭」、小宮豊隆「淡雲」、窪田空穂「園吉の田」、森田草平「未練」、永井荷風「日本の庭」、小川未明「死」「女」「夜露」、正宗白鳥「恋」「信仰」、水野葉舟「待合室」、相馬御風「仙人の底」、前田寛「一年鑑」、小川未明「女」、小山内薫「草市の晩」、小泉鉄「Bの死」、老實直哉「機」、平沢伸次「電車」、有島武郎「ある女のグリンプス」、園地公政「得意先」、生田雄介「政ちやんの死と美直後」、三島きぬ子「人形」、岡田八千代「霞」、上野小剣「円い顔」、横本小剣「巫」)
宮本和吉 明治40年10月31日,新小説,第16年第11巻
2
【(同人時論)<文芸評論>星見静氏/谷崎潤一郎氏/野上弥生氏/岩野泡鳴氏/三田文学趣味 佐々木光三 1913年10月28日,第三帝国,82
34
【(同人時論)<文芸評論>有島武郎「カインの末裔」(『新小説』)「平凡人の手紙」(『新潮』)/中橋百合子「陈宣德宮田」(『中央公論』自然生活号)/鈴木悦「白痴の子」(『早稲田文学』)/谷崎潤一郎「真端者の悲しみ」(『中央公論』七月号)/芥川龍之介「俗僧流」(『中央公論』七月号) 佐々木光三 1913年8月9日,第三帝国,87
35
【(最近の小説の主なるもの)江馬修「他人の恋」(『新小説』)「小山内薫「泥の山」(『新小説』)/小川未明「女の隣に」(『東方時論』)/尾島菊子「赤いスリッパ」(『文章世界』)/谷崎潤一郎「文装三蔵」(『中央公論』) 横田文 1913年5月9日,第三帝国,84
36

谷崎潤一郎と映画(シネマ): 1930年前後 本文リンク	2243
関 礼子, Seki Reiko 2006, 重慶大学文学文化紀要, 10	2244
化粧行動許容に関わる公共場面の構造説明とそれを規定する個人差要因 本文リンク	2245
平松 隆円, . 2006, 繊維製品消費科学会誌, 47/11	2246
	2247
	2248

ざっさくプラス

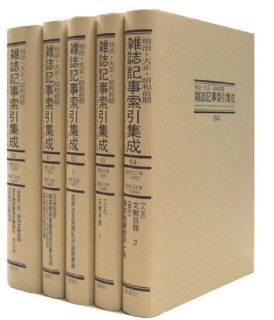
ここがスゴイ! ①

明治初期から現在まで、通して検索！

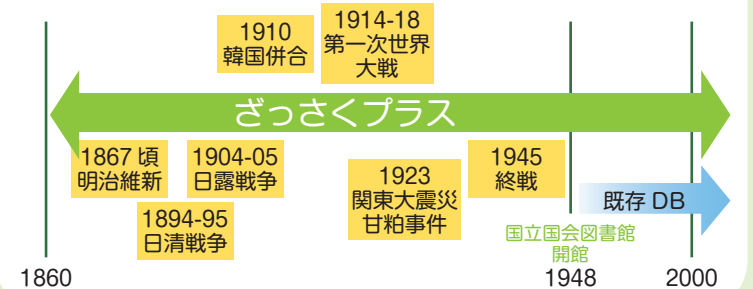
既存の和雑誌検索データベースが苦手とする、戦前期のデータを重点的に搭載しています。1948 年以降を中心に収録している CiNii Articles (NDL データ含む) と連携しているので、雑誌メディアの登場から現在までの一括検索が可能です。さらに、2014 年度からは NDL デジタルコレクションの、メタデータの精度をあげての実装も始まり、より広い範囲の、より深い検索ができるようになりました。

独自データのソースは？

独自データのソースは、戦前の雑誌目録の複製集である『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』全 120 巻、そして膨大な量の「目録」と「総目次」です。あえて基準を設けず、社会科学と人文科学を中心に、あらゆるジャンルの雑誌を搭載しています。多様な分野を網羅した検索結果からは時代の全体像が見え、基礎研究に幅と奥行きをもたせることが可能になります。



こんなに広い範囲を調べられる！



ざっさくプラス

ここがスゴイ! ②

小規模の地方誌から、総合雑誌まで収録！

地方で刊行された雑誌についても、戦前のデータを追加していきます。**ざっさくプラス**は、全都道府県で出版された雑誌を一括検索できる、唯一のデータベースでもあるのです。下記の文献の全データを地方誌データのベースとして、個別の雑誌データを続々追加しています。

- 1) 1997 年～現在
『地方史文献年鑑』(飯沢文夫編 岩田書院)
- 2) 1983 ～ 1997 年
『地方史雑誌文献目録』(飯沢文夫編「歴史手帖」掲載)
- 3) 1974 ～ 1983 年
『日本史文献年鑑』(地方史研究協議会)

新たな研究の予感

日本大学文理学部教授
公益財団法人日本近代文学館理事 **紅野謙介**

日本の近現代はおびただしい数、種類の雑誌群によって支えられてきた。この雑誌こそ、文学や歴史を研究するものにとって最大の資源である。そのために多くの復刻が出て、総目次も作られたものもある。しかし、その横断検索となると、各自が勘をたよりに努力するほかなかった。「ざっさくプラス」はその雑誌記事索引を集成したデータベースである。たとえば、岡千代彦という印刷工組合の運動家について検索してみた。国会図書館の雑誌記事索引では結果は0。しかし、こちらでは8件。復刻のある『新社会』（売文社）の埋め草記事はむろん、消息記事、『印刷雑誌』の雑報に載った名前もあがってくる。亡くなる直前に岡が書いたエッセイが尾崎一雄、尾崎士郎らが編集した小さな文芸誌『風報』に載ったと出て来る。このつながりまではさすがに気づかない。こうした検索がここでは可能なのだ。いま登録記事の数は1500万件を超えたという。おそらく今後も増え続けるだろう。民間の出版社によって実現されつつあるこの未完のプロジェクトこそ、近代日本の歴史・文学・文化を研究するものにとって新しい可能性を開くものになると確信する。

「ざっさくプラス」頌

武蔵野大学図書館長 **小西和信**

人家もまばらな寒村に生まれ育った私は「漆黒の闇」を知っています。鼻をつままれても分らないとの譬えの通りです。そんな時に明かりに出会うことは、たとえマッチ一本でもありがたいものです。何かの調べ物をする者にとって、書誌や索引、データベースというのは、まさに漆黒の闇を照らす一条の光なのです。若い頃、大学図書館の参考調査掛にいた私は、戦前の文献調査の度に途方に暮れたものです。戦後の雑誌論文を対象とした『雑誌記事索引』（国立国会図書館）のようなまとまった書誌・索引は存在せず、きれぎれの目次集を渉猟するしか道はなかったからです。やがて、その不便さを託つだけでなく、「誰も作らないなら作ってやろう」とばかりに壮大な仕事にチャレンジする人が現われました。それは120巻に及ぶ『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』（皓星社）に結実し、今日の「ざっさくプラス」の中核になりました。一条の光は、光の束となって闇を照らしてくれています。果敢なチャレンジに感謝します。

基礎調査の必須ツール

国立新美術館 学芸課 美術資料室 **谷口英理**

近代日本美術史という専門柄、明治期～昭和戦前期に発表された文献を漁る必要があるため、戦前期の文献のヒット率が高い「ざっさくプラス」は必須ツールです。NDL データと CiNii データとの連携により比較的最近の研究論文から同時代文献までを簡単に調べることができることもあって、新しい研究テーマにとりかかる際の基礎調査には必ず利用しています。しばしば自分の専門分野以外の雑誌に掲載された文献との出会いをもたらしてくれるところも、「ざっさくプラス」の素晴らしいところです。以前、某美術批評家の基礎資料集の編纂をしていた際に、その批評家がまだ美術批評を始める前の若い頃に発表した文芸評論を発見したことがありました。全くチェックしていなかった文芸誌に掲載された文献だったので、「ざっさくプラス」がなければ見逃していたと思います。個人的には「明治・大正・昭和前期雑誌記事データベース」（実験版）のころからの愛用者ですが、昨年度より、勤務先美術館のライブラリーにも導入させていただきました。館内の研究員には、展覧会準備のための基礎調査等に活用してもらっています。今後も、採録雑誌のさらなる充実を図っていただけることを期待しております。

世界の「ざっさくプラス」

丸善株式会社 学術情報ソリューション事業部
電子・ソリューションセンター長 **大熊高明**

私は2007年夏から2011年末まで米国の弊社子会社に勤務し、北米の大学図書館における日本研究司書の方々の電子資料に対するニーズを広く伺う機会に恵まれました。北米の大学という巨大かつ潤沢というイメージを思い浮かべがちですが、その中に占める日本研究の割合は決して大きくはなく、予算も限られています。一方で、ひとくちに「日本研究」といっても個々の研究者の研究対象は極めて多岐にわたります。そうした中で、「ざっさくプラス」は対象とする年代、分野において比肩するものない雑誌記事索引データベースであり、かつ皓星社のご厚意もあって日本研究者が数人しかいないような大学での導入も実現できたことで、最も多くの北米の大学図書館でアクセス可能な日本研究関係のデータベースの一つになっています。これまで見つけられなかった資料を発見できた喜びをしばしば司書や研究者の方々から伺えたときは私自身にとっても大きな喜びでしたし、現在もまだ拡張が続く他の索引データベースとの連携も進むこの「ざっさくプラス」は海外の日本研究図書館でもさらに広く利用され、日本研究の推進に寄与すると確信いたします。

国立国会図書館デジタルコレクション実装、スタート！

2014年度より、国立国会図書館デジタルコレクションの、雑誌目次データの実装を開始しました。戦前の雑誌から順に、搭載をはじめています。より「雑誌」に特化した検索ができるようデータの一部を改変し、連携検索ではなく、**ざっさくプラス**に実装しています。さらにデータの不足等も補いながら実装しておりますので、より精度の高い検索が可能になります。国立国会図書館の「図書館送信サービス」との併用で、ますます便利にお使いいただけます。



株式会社

皓星社

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南 1-14-5
TEL : 03-5306-2088 FAX : 03-5306-4125
E-mail : zassaku-plus@libro-koseisha.co.jp

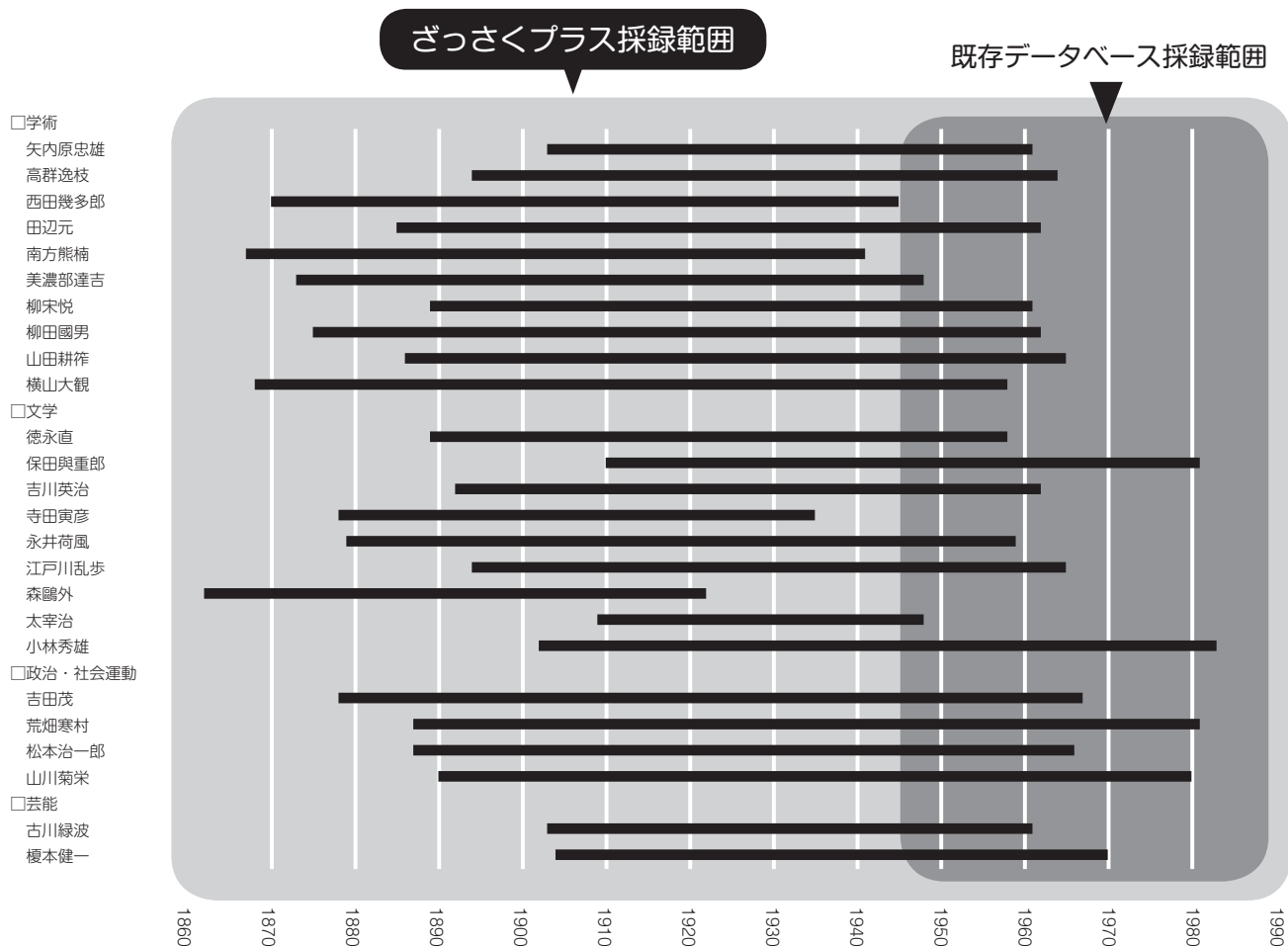
取り扱い（総代理店）

M MARUZEN

Data base

ざっさくプラスだけが持っている 戦前からのデータの重要性

例えば、主に戦前期に活躍した人物や事件が検索対象である場合は、戦後のみのデータベースでは十分な検索結果を得ることができません。



各データベースの得意範囲

ざっさく採録範囲 ざっさく得意分野 連携検索

	NDL	某商用 DB	CiNii	ざっさく	占領期 BD	Web OYA
NDL データ (戦後) ①	◎	◎	◎	◎		
NDL 空白補充 ②				◎		
戦後独自 ③		◎	◎	◎		
戦後 一般／娯楽／サブカル ④		○		○		◎
占領期 ⑤		ハーベスト		○	◎	
戦前期 ⑥	○	○		◎		○
地方 (戦前・戦後) ⑦		△		◎		

- ① 共通 1948 年以降のデータ。各 DB はこのデータの提供をうけている。
- ② NDL は、採録基準が時に変わります。そのため途中で採録が開始されたり、逆に中止になったり、再開したりします。ざっさくプラスでは、その空白期のデータを独自に作成しています。
- ③ それぞれ NDL データに独自データを加えて特徴づけています。NII の CiNii のデータ量が群を抜いています。
- ④ この分野は大宅文庫さんの独壇場です。
- ⑤ 占領期に限ってはこのデータベースにはありません。(プランゲ文庫の索引「20 世紀メディア情報 DB」)
- ⑥ 日本に雑誌というメディアが出現した明治初期からのデータを作成しています。
- ⑦ NDL や CiNii、既存の DB が対象にしていない、戦前・戦後に地方で刊行された定期刊行物のデータです。

こんな方に、
こんなふうに
「ざっさくプラス」！



研究職の方

論文執筆の
資料収集を
効率的に

研究のはじめに、まず著作目録や先考論文目録を作る必要があります。雑誌記事目録を作るには、それだけで相当の時間と労力を費やすもの。「ざっさくプラス」を利用すれば、それらが大幅に軽減されます。「ざっさくプラス」は、研究の基礎づくりのお手伝いをし、研究そのものにかかる時間を多く作りだします。

学生の方

レポートや
卒業論文の
参考資料に

雑誌記事を検索することは、いま抱えているテーマを歴史的に検証することでもあります。テーマに沿った記事がもれなく検索できるだけでなく、そのテーマが何時から注目されるようになったのかも、検索結果のグラフで一目瞭然です。また逆に、そのグラフから新しいテーマを読み取るきっかけを得ることもあります。日頃から辞

書を引くように気軽に検索をつづけていると、いつの間にか「知のインフラ」が築かれていきます。

公共図書館では

郷土史・民俗・
文芸・人物を
調べるツール
として

地域の歴史や文化の調査には、非常に大きな困難があります。小さな地方誌や郷土雑誌の多くはNDLの採録基準からは漏れていることが多いからです。「ざっさくプラス」ではこれらの雑誌も積極的に採録しています。地域の歴史や風俗、郷土の作家はもちろん、先祖の書いたものや、地域企業の歴史を調べる人にとっても、協力的な助っ人です。

こんな要望にお答えします

- ▶採用機関での講習会やガイダンス（職員向け・学生向け）時の臨時アクセス数増設や、講師の派遣。
- ▶図書館司書課程、情報処理の授業等でのレクチャーを推奨しています。臨時アクセス数増設を承ります。

詳細はお問い合わせ下さい

目指すは雑誌記事検索のポータルサイト

2008年『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』のWeb版として「ざっさくプラス」が生まれてからも、地道なデータの収集と搭載は続き、ついに1500万件を突破しました。

2014年度からは、NDLデジタルコレクションのデータを改良した上で実装し、戦前期のデータがより豊かになりました。

現在、二つの方針のもと、データの充実をはかっています。

一つは、すでに復刻版が刊行されている雑誌目次の搭載です。数多くの雑誌が復刻され、研究の道は広く開かれました。しかし、それを網羅的に検索するデータベースがなければ、多くの記事は研究者の目に触れることなく、図書館や研究室の書架で眠ってしまいます。まずこれらの資料を優先的に、データベース化する方針です。

もう一つは、戦前から戦後にかけての映画雑誌の目次の搭載です。映画雑誌の蒐集家、故・竹内重弘氏のコレクションを中心に、既に搭載が始まっています。

いっそうのデータの充実によって、「日本の雑誌記事を調べるなら、まずはざっさくプラスで調べよう」、そう思われるような、雑誌記事検索のポータルサイトを目指していきます。